



士別翔雲高校だより

学校通信 第171号 令和6年10月31日(木)発行 校訓「一歩前へ」



9月30日(月)体育祭が行われました。翔雲祭と同じ縦割りの雲隊での勝負となりました。チーム分けは以下の通りです。

青雲(1B・2C・3D)、緑雲(1A・2D・3B)黒雲(2A・3C)、赤雲(1C・2B・3A)

当日は晴天に恵まれ、グラウンドには生徒達の歓声が響きました。昨年は雨で屋内での開催だったため、今回初めて屋外で開催された体育祭に参加したという生徒もあり、「外でできて嬉しい、去年より楽しい。」という声が多く上がっていました。種目は全部で10種目あり、生徒はそれぞれ2～4種目に参加し、体育の時間等を使い練習に励んでいました。

生徒達は互いに励まし合い、時には雲隊を超えて応援しながら競技に臨んでいました。昨年はカメラを通して教室での応援だったため、応援が届かず少し寂しい雰囲気もありましたが、今年度は選手に直接声を掛け応援することができ、競技に出ていない生徒の方が盛り上がりつつも見えました。楽しみながら、互いに応援し合うことの大切さを学ぶことができる行事になったのではないのでしょうか。



また、生徒会執行部や新聞局、放送局、体育祭実行委員の生徒は、事前の準備や、競技に参加しながらそれぞれに任された仕事に取り組んでいました。体育祭実行委員長の2年B組北村佑樹くんは、「執行部の皆さんのおかげで最高の体育祭になりました。ありがとうございました。」と話していました。

観覧には多くの保護者の方に参加していただきました。生徒は、見てもらえているということでより良いパフォーマンスを発揮できたようです。

総合順位は、1位黒雲 2位赤雲 3位緑雲 4位青雲となりました。



～部局活動報告～

美術部

8月21日(水)～23日(金)令和6年度 第58回高文連道北支部美術展・研究大会(美深町)
入選:尾山奈那(3C)、合田すず(3C)
佳作:山下陽色(3B)、高松杏樹(3D)、澤田 和香(2B)、猪瀬 楓(2B)、矢嶋 晴(2B)
河合 栞(1A)、丸 桜子(1B)、加藤ちなつ(2B)

入選及び佳作に選出された10名は10月9日(水)・10日(木)に旭川大雪アリーナで開催された第58回全道高等学校美術展・研究大会に参加しました。

10月15日(火)～10月21日(月)
士別郵便局駐車場にシャッター絵画を制作しました。



ソフトテニス部

9月14日(土)・15日(日)第54回北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会(帯広市)
男子ダブルス:ベスト32 笠井煌太郎(2A)、羽田野廉人(2A)

図書局

9月26日(木)・27日(金) 高文連第46回全道高等学校図書研究大会(空知大会)(岩見沢市)

テニス部

9月6日(金)～8日(日)北海道高等学校名寄支部秋季テニス大会(稚内市)

団体戦:準優勝

ダブルス:準優勝 瀬戸証士(2A)、川江空汰(2B) 3位 吉原舜之助(2C)、田代竜騎(2C)

シングルス:3位 瀬戸証士(2A)、川江空汰(2B)

陸上競技部

9月18日(水)～20日(金)北海道高等学校新人陸上競技大会(室蘭市)
古川 青樹(2B) 110mH/16"21(+0.8)B決勝進出第6位、走高跳/1m84決勝進出 第5位
六郎田朔也(2B) 1500m/4'01"30決勝進出第4位、5000m/15'33"13決勝進出 第4位

弓道部

10月12日(土)・13日(日)第46回北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会(芦別市)
男子個人戦:決勝進出 田中榛朋(2B)

野球部

9月28日(土)・29日(日)秋季北海道大会名寄地区予選(稚内市)
2回戦:名寄高校 1-16 士別翔雲高校 代表決定戦:稚内大谷高校 0-7 士別翔雲高校
10月17日(木)秋季北海道大会(1回戦)(札幌市)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
士別翔雲	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
駒大苫小牧	0	0	1	0	0	0	0	1	X	2

放送局

10月17日(木)第47回放送コンテスト道北支部大会(稚内市)
アナウンス部門:優秀賞(2位) 澤田瑠士(2D)
朗読部門:優秀賞(2位) 貞金 颯(2D)、優秀賞(3位) 頓宮匠之輔(1B)
ビデオメッセージ部門:優秀賞(3位)

11月14日(木)江別市民会館で行われる全道大会に出場します。

新聞局

10月2日(水)～4日(金)第68回全道高等学校新聞研究大会・全道高等学校新聞コンクール(苫小牧市)
手書き・ワープロ部門:優秀賞

ウエイトリフティング部

10月6日(日)～10日(木)第78回国民スポーツ大会(佐賀県)

階級	氏名	スナッチ(kg)			クリーン&ジャーク(kg)			トータル	
								記録	順位
67kg級	石川英虎(2B)	105 ○	109 ×	109 ×	126 ○	131 ×	131 ○	236	4
96kg級	榎本凌也(3A)	120 ○	123 ○	125 ○	150 ○	153 ○	161 ×	278	1

2年総合ビジネス科商業教育フェア

9月13日（金）・14日（土）に新札幌サンピアザ光の広場で行われた、第13回北海道高等学校商業教育フェアに、総合ビジネス科2年生が参加してきました。「天サイダー」や「うんめえパイ」を中心とした、土別のご当地商品を販売しました。授業の中では、ポップの作成を行ったり、明るく接客をする練習を行ったりしました。札幌大通り地下歩行空間でも販売実習を行い、道を歩く人に足を止めて貰う難しさを実感したようです。

1年進路先見学会

9月25日（水）旭川大雪アリーナで行われた進路先見学会に、1学年が参加してきました。生徒達は、自分が興味のある学校や企業のブースに話を聞きに行き、進路について考えていました。沢山の学校・企業が一度に集まる場に行くことで、自分の知らなかった分野の進路選択についても考えることができたのではないのでしょうか。生徒達にとって、今後の進路活動にも良い影響を与える活動になったようです。

中学生体験入学

10月12日（土）中学生体験入学が行われました。市内外から86名の中学生が参加してくれました。1時間目に授業見学、2時間目に学校説明、3時間目には体験授業というスケジュールで、翔雲高校の魅力を伝えました。教室からは楽しそうな声が聞こえてきました。放課後は部活動体験入部も行いました。

防災講話

10月15日（火）避難訓練と防災講話が行われました。地震を想定した訓練が行われ、2008年にアメリカで始まったシェイクアウトという新しい形を取り入れた訓練となりました。訓練の後には、石川県の震災の際にボランティア活動をした経験がある、土別市社会福祉協議会の玉置雅也さんにお越しいただき、実際にボランティアとして行ったことを伝えていただきました。また、土別で災害が起きた際に高校生ができることについて学びました。

この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、道新鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。

〈発行者〉北海道土別翔雲高等学校 担当：総務部
〈電話〉0165-23-2914 〈FAX〉0165-23-2911
〈ホームページ〉<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>
〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

上記のホームページ（もしくは右記のQRコード）でカラー版をご覧ください。
その他生徒達の活動は随時学校INSTAGRAMにて更新しておりますので、そちらも是非ご覧下さい。



名寄市立大学と高大連携事業の締結！今月号からコラムの連載も開始！

令和6年9月27日（金）名寄市立大学と高大連携事業に関する協定を締結しました。昨年度から連携に向けて構想を始め、今年度から大学と協議を重ねた結果、このたび締結する運びとなりました。本校としては、毎年名寄市立大学に進学する卒業生がいる中で、大学との連携を深めることでより生徒の進路選択の幅が広がり、学修成果の向上に期待しています。

今後は、今月号より高校生に向けたコラムの連載が開始されます。ほかにも大学模擬授業・学内見学ツアーや総合的な探究の時間への支援など、さまざまな活動に取り組めます。



高校と大学の学びの違い。大学ではどのような力が身につくか？

名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 准教授 石川 貴彦 氏

土別翔雲高校と名寄市立大学の高大連携事業の一環として、今月号から3回にわたって大学教員によるコラムを連載します。初回は「高校と大学の学びの違い。大学ではどのような力が身につくか？」というテーマで、以下に述べていきます。

私が考える高校の学びは、国語、社会、数学、理科などの科目を幅広く学び、その中から自身の得意や不得意に気づき、得意分野をさらに伸ばすための努力や、不得意分野を克服するための改善を進めつつ、そこに思考力や判断力、学ぶ意欲なども適用して、自身のキャリアを形成していく過程であると捉えています。国語や社会が得意であることに気づくと「私は文系」、数学や理科が得意ならば「僕は理系だ」というように、文系・理系といった立場を明らかにして、進路や職業選択を決定していくのはよくあることです。

その文系・理系などに応じて大学には学部が設置され、文系には文学部や教育学部など、理系には理学部や工学部などが該当します。私が考える大学での学びは、こうした文系・理系などといった枠組みのなかで得意分野をさらに深化させていく過程であると捉えています。ただし、得意分野を深化させるというのは、高度な専門知識や技術を身につけることだけではありません。様々な知識や技術を結び付けたり、斬新なアイデアを加えたりして、新たな知識や技術を発見していくことが深化で、それは他者との協力や研究、ディスカッションなどによって築き上げられるものです。したがって、大学ではどのような力が身につくか？の答として、私は得意分野の知識・技術のほかに、深化に必要な統合力や発想力、さらには高次のコミュニケーション力などを挙げます。

私は大学の教育学部で学びましたが、わかりやすい授業の方法を追究すればするほど、情報システムの開発や活用が欠かせないと考えるようになり、さらに大学院の工学研究科で学びました。教育学部は一般的には文系のように感じますが、教育学を学んで深化を目指す、実は理系の工学部の知識が必要だったという訳です。最初は文系を入口としていたのが、いったん外に出て改めて理系の入口に入ると、奥の方では文理融合した形でつながっていて、そこで教育工学という複合領域の分野を知ったのです。

大学進学を考えている高校生の皆さんは、まずはどこを入口にするかを、高校での学びからみつけるのが良いと思います。自身が深化したい内容に応じて学部を選択できますし、今では文理融合した学部が既に用意されている大学もあります。そういう意味では、大学は自主的な学びを保障する自由度の高い環境であるといえます。

次回予告

12月号「大学では高校の勉強ってどう役に立つか？」 名寄市立大学保健福祉学部教養教育部 教授 メドウズ・マーティン氏

【11月行事予定】

- 1日（金）2年見学旅行④
- 2日（土）2年見学旅行⑤
- 3日（日）文化の日、3年北大入試オープン
- 4日（月）振替休日
- 5日（火）2年振替休業日
- 7日（木）1年性に関する教室
- 8日（金）エキスパート講話
- 9日（土）3年北大入試プレ
- 10日（日）1・2年総合学力テスト・11月、2年公務員模試②
- 12日（火）全商ビジネス計算実務検定試験②、英検②二次
- 13日（水）2年進路別ガイダンス
- 14日（木）身だしなみ指導
- 15日（金）授業料口座振替日
- 16日（土）3年全統共通テストプレテスト、2年介護職場体験
- 19日（火）考查1週間前
- 23日（土）勤労感謝の日
- 24日（日）全商ビジネス文書実務検定試験②
- 26日（火）後期中間考査（～11/29）

【12月行事予定】

- 2日（月）身だしなみ指導
- 3日（火）2年総合ビジネス科下川連携
- 7日（土）3年ベネッセ共通テスト対策【実力養成】プレパック
- 10日（火）図書館バス
- 14日（土）3年冬期講習（～12/28）
- 15日（日）全商ビジネスコミュニケーション検定試験
- 16日（月）授業料口座振替日
- 21日（土）1・2年冬期講習（～12/21、22、24～28）
- 23日（月）大掃除、表彰伝達式、冬季休業前全校集会
- 24日（火）冬季休業（～1/15）、2年就職ガイダンス
- 29日（日）学校閉庁日・年末校舎閉鎖（～12/31）



～今月の1枚～

食育実習の様子。
キンパ風おにぎらずを作りました！